

モンゴル事務所ニュースレター 2019年5月号

トップニュース

モンゴル初の SATREPS、家畜原虫病対策に関するプロジェクトが終了



モンゴル初の、地球規模課題に対する科学技術協力（SATREPS）「[モンゴルにおける家畜原虫病疫学調査と社会実装可能な診断法の開発](#)」が2019年5月に終了しました。2014年から約5年間、帯広畜産大学とモンゴル獣医学研究所の協力により、全国の疫学調査や各種原虫病の流行実態を解明し、簡便で迅速かつ正確な原虫病診断法を実用化するなど多くの成果を上げ、終了時評価では高い評価を得ました。今後、共同研究で得られた成果を生かし、モンゴル各地の原虫病対策に向けた取組が強化されることが期待されます。

プロジェクトの動き

耐震診断・補強に関する TOT（Training of Trainers）を実施中です



技術協力「[地震防災能力向上 PJ](#)」では、2019年5～10月の予定で、PJで制作した建物の耐震診断・補強、インフラ構造物の耐震診断に関するガイドラインを用いて、耐震診断・補強に係る人材育成を図るためのTOTを実施しています。第一弾として、5月6～17日にかけて、国家非常事態庁、専門監察庁、建設・都市開発省、建設開発センターなどを対象に研修を実施しましたが、今後も各組織で求められる技術レベルや研修員の能力に応じたきめ細かな内容で技術移転を行っていきます。

「思春期からの健康なライフスタイル構築のための持続可能な仕組みづくり PJ」 終了式典開催



5月28日、草の根技術協力「[思春期からの健康なライフスタイル構築のための持続可能な仕組みづくり PJ](#)」（日本側実施団体：自治医科大学）の終了式典が開催されました。本PJは、約4年間にわたり、UB市スフバトル区を対象に思春期の若者や住民が性や健康について仲間と寄り添いながら解決策を見出していく「ピア活動」の仕組みづくりに取り組んできました。式典には、ピアカウンセラーとして養成された若者や関係者が多数出席し、今後の自立的な活動に向けた意志が表明されるなど、将来的な成果の持続や他校への展開が期待されます。

「障害児療育・教育支援及び療育関係者の育成事業」の終了時評価を実施



草の根技術協力「[モンゴル障害児療育・教育支援および療育関係者育成事業](#)」は、NPO「ニンジン」（日本側実施団体）がモンゴルの「障害児親の会」と協力して、2つの障害児療育・教育センターを中心に、障害のある子どもの家族の療育・教育支援を行っています。4月21～28日、8月の事業終了に先立って終了時評価を行い、両センターで、障害児と保護者の遊びや体操を通じた療育活動の定着や保護者の自宅における療育活動を実践していることが確認できました。また、保護者同士がセンターで交流することで、社会参加の機会となったことも確認できました。事業終了まで、成果の更なる定着に向けて引き続き活動を行います。

新空港事業が「Bloomberg TV Mongolia Awards」受賞！



5月13日、円借款「[新ウランバートル国際空港建設事業](#)」が、「Bloomberg TV Mongolia Awards」の「2018年最優秀プロジェクト（PJ）賞」を受賞しました。日本とモンゴルの協力関係を象徴する事業として、2018年の最も秀でたPJとして選ばれたものです。本事業は、首都空港の安全性や利便性などの向上を図るため、ウランバートル（UB）の南西約50kmに新空港を建設しているもので、旅客数の増加にも対応可能な施設として観光振興の起爆剤になることも期待されます。

その他の事業の動き等

- 5月20日：澤池多恵子長期専門家（社会保険実施能力強化PJ）着任
- 5月28日：立木麻央長期専門家（獣医畜産分野人材育成能力強化PJ）着任
- 5月29日：吉岡静香長期専門家（獣医畜産分野人材育成能力強化PJ）離任
- 5月30日：早川祥子長期専門家（モンゴルにおける家畜原虫病の疫学調査と社会実装可能な診断法開発PJ）離任

ボランティア事業の動き

ボランティア活動紹介（より良い幼児教育へ）



モンゴルの中核都市の一つであるエルデネト市で、春日井里菜JVと山口美穂JVが幼児教育ボランティアとして活動しています。教員と一緒に、朝の体操や歌、集団遊びなどの指導、園児の安全な環境の整備、手洗いや歯磨きなどの衛生面の指導などに取り組んでいるほか、児童中心の教育の実践のための勉強会も開催しています。両JV制作の幼児教育活動集（集団遊びや身近なものを利用した作品制作など）を教育分科会 [WEB サイト](#) で公開していきますので、是非ご覧ください。

その他のボランティア情報

- JICA 海外協力隊の世界日記：阿部由美JV（2018-1／音楽教員／セレンゲ県教育局）[投稿 1](#) [投稿 2](#)



研修・帰国研修員同窓会

2018年度グッドプラクティス賞の紹介（2）



教員研修所指導主事 Ch.ジャルガル氏は、2015年8～9月にかけて課題別研修「インクルーシブ教育／特別支援教育の推進コース」（JICA 横浜）に参加しました。研修参加後、現在までの約4年間で、教員や障害児向けの各種セミナーを開催するなど、UB市や地方の計6,000人の教員に研修ノウハウを共有し、複数のハンドブックも制作しました。彼女のこのような努力が高く評価され、帰国研修員同窓会2018年グッドプラクティス賞を受賞しました。[同窓会 HP](#)

事務所ナショナルスタッフが日本語で執筆！

コラム ～モンゴルの文化・生活事情紹介～ 「ウランバートル国際マラソン」

ウランバートルでは、毎年5月第3土曜日をノーカーデーとして、国際マラソンを開催しています。例年多くの市民やプロランナーなどが参加して汗を流しますが、今年は約3万人が出席し、通行止めとなった市中心部を駆け抜けました。この日は、街中に車の騒音は響かず、静かで、マラソンコースで使われていない道路では、ゆっくり散歩する家族やカップル、自転車やキックボードなどに乗って遊ぶ子供たちも多く見られます。ご興味のある方は来年ぜひ参加してみてくださいね。（サラ所員）

